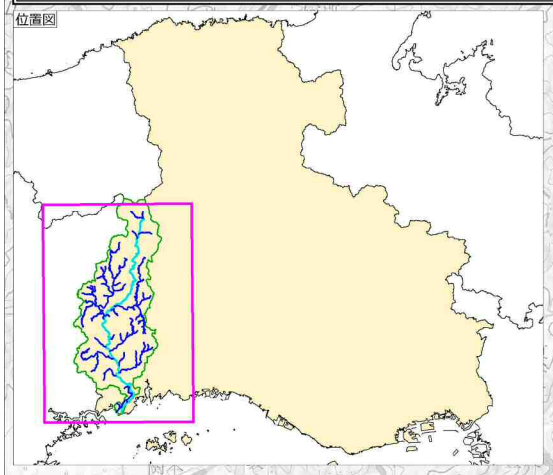
千種川水系　洪水浸水想定区域図　計画規模　総括図（図郭図）

位置図



千種川 23/23
千種川 22/23
千種川 21/23
千種川 20/23
千種川 19/23
千種川 18/23
千種川 17/23
千種川 16/23
千種川 15/23
千種川 14/23
千種川 13/23
千種川 12/23
千種川 11/23
千種川 10/23
千種川 9/23
千種川 8/23
千種川 7/23
千種川 6/23
千種川 5/23
千種川 4/23
千種川 3/23
千種川 2/23
千種川 1/23
大津川水系 1/1
亀の尾川水系他 1/1

西河内川
河内川
西山川
岩野辺川
東谷川
滝谷川
江川川
末包川
庵川
淀川
佐用川
長谷川
金近川
矢野川
西河内川
熊井川
桜山川
大地川
千種川
幕山川
山田川
鎌倉川
本郷川
須安川
大日山川
大下り川
志文川
弦谷川
角亀川
秋里川
滝谷川
獄ノ尾川
二ノ谷川
長谷川
中ノ下タ川
カチジ川
大谷川
梅谷川
細野川
杉尾川
岩井谷川
保草谷川
鞍居川
大富川
能下川
榊川
岩木川
安室川
梨ケ原川
高田川
小河川
矢野川
長谷川
芳谷川
鮎帰川
構谷川
西矢野谷川
普光沢川
岩谷川
佐方川
大谷川
亀の尾川
大津湯ノ内川
権現川
亀谷川
県山川
柿山川
大津川
加里屋川
塩谷川
新川
加里屋川放水路

西粟倉村
美作市
佐用町
上郡町
赤穂市
相生市
たつの市
宍粟市

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m以上3.0m未満の区域
- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 5.0m以上10.0m未満の区域
- 10.0m以上20.0m未満の区域

市町境界

浸水想定区域指定の対象となる河川

1　説明文

(1)　この図は、「２基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨（以下、「計画降雨」という。）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和24年法律第193号）第14条第１項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「２基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。

(2)　この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「２基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に１回程度起こる大雨が降ったことにより「２基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)　なお、このシミュレーションにあたっては、「２基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

(1)　作成主体　兵庫県

(2)　公表年月日　令和元年５月３１日

(3)　公表する河川　千種川水系高雄川、加里屋川放水路、新川、長谷川、矢野川、小河川、能下川、榊川、高田川、安室川、梨ケ原川、鞍居川、大富川、梅谷川、杉尾川、カチジ川、岩木川、細野川、秋里川、大日山川、幕山川、桜山川、大地川、熊井川、獅安川、山田川、江川川、西河内川（佐用川支川）、淀川、末包川、金近川、長谷川（佐用川支川）、庵川、滝谷川（佐用川支川）、東谷川、滝谷川、大下り川、弦谷川、角亀川、本郷川、鎌倉川、獄ノ尾川、長谷川（志文川支川）、二ノ谷川、中ノ下タ川、大谷川、岩井谷川、保草谷川、矢野川（志文川支川）、西山川、岩野辺川、河内川、西河内川（千種川上流）（公表県民局：西播磨県民局）

(4)　その他図示する河川　千種川水系千種川、佐用川、恵文川

(5)　関係市町　相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、たつの市、宍粟市

(6)　その他の計算条件等

①　この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。

②　この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③　氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを１単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。

④　洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。また、浸水深は25mメッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図20万を複製したものである。（承認番号　令元情複、　第99号）

1:75000

千種川水系　洪水浸水想定区域図
計画規模　総括図（図郭図）